

子規博特別講座 冬季子規塾

子規と旧派 十九世紀俳句史を考える

俳句の盛んな下総に生まれ育ち

俳人の両親に育てられました。

正岡子規以前の明治俳句史が十分に

調べられていないことが気になり

資料を収集し、図書館情報大学・筑波大学大学院で調査。

以来、近世の俳文芸と近代俳句のつながりを調べ続けています。

近代俳句の祖とされる正岡子規ですが

当然、多くのことを近世の俳文学から継承しています。

今回は、幕末や明治前期の俳家を少し紹介し

彼らから子規が受け取ったものを

考えていきたいと思えます。



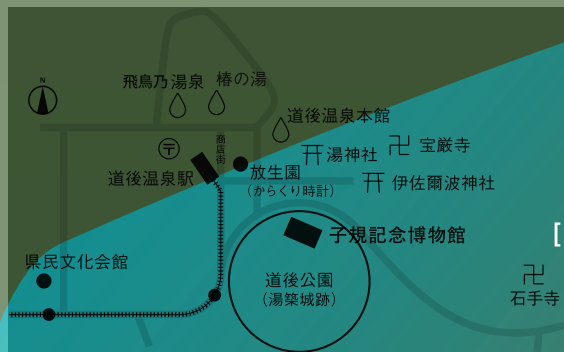
令和6年12月15日(日)
14:00~15:30
松山市立子規記念博物館 4階講堂



講師 秋尾敏氏

1950年、埼玉県生まれ。千葉県在住。俳誌「軸」主宰、俳句図書館鳴弦文庫館長。全国俳誌協会会長、現代俳句協会副会長。月並と言われる天保時代から正岡子規にいたる近代俳句史を研究。また、河東碧梧桐から現代俳句に至る現代俳句史を考察。平成3年「子規の近代」により現代俳句協会評論賞。平成30年『俳句の底力』により俳句四季特別賞。令和2年句集『ふりみだす』により現代俳句協会賞。句集に『私の行方』『納まらぬ』『アラカルト』『悪の種』『ふりみだす』。評論に『子規の近代』『虚子と「ホトギス」』『俳句の底力』『河東碧梧桐の百句』等。共著に『学校歳時記』（ポプラ社）『俳句の辞典』（朝倉書店）等。

お申し込みフォームは
こちらのQRコードを
読み込んでください。



道後温泉駅より徒歩約5分 道後公園駅より徒歩約5分 ※公共の交通機関を乗る際にご利用ください

参加費：無料（事前申し込みが必要）

定員：300名（定員になり次第締切）

申込方法：[方法] ①氏名（ふりがな）②電話番号 ③参加人数を明記し、ご来館またはメール、FAX、お電話、お申し込みフォームにてお申し込みください。

【宛先】〒790-0857 松山市道後公園 1-30 松山市立子規記念博物館「冬季子規塾」係
電話 089-931-5566 FAX 089-934-3416 メール sikhaku@lesp.co.jp

主催：松山市教育委員会

（運営：松山市立子規記念博物館 指定管理者 株式会社レスパスコーポレーション）

HPアドレス：https://shiki-museum.com

松山市立子規記念博物館

〒790-0857 松山市道後公園 1-30 TEL 089-931-5566 sikhaku@lesp.co.jp